

みんなで創る栄養の未来、読者参加型実践マガジン

ヘルスケア・レストラン

2018

9

SEP.



「特集」血糖コントロールの先にあるもの

血圧で考える

糖尿病の栄養指導



食事を楽しむ

その責任を果たす



多職種連携の一步は

信頼づくりから始まる



ケアをつなげていき

途切れないサポートを



サルコペニア予防を踏まえた人工透析治療を支える

透析食

撮影=増田 智

内科・循環器科・人工透析を専門とした医療を提供する春日部嬉泉病院。

高齢社会を迎えたことで腎臓病患者の高齢化も進み、

透析治療を必要とする患者は少なくない。

加齢による食事量の低下に加え、

人工透析では栄養素の漏出が顕著であるとされているため、

栄養状態の低下を防ぎ、

人工透析を受けながらできるだけ在宅で長く生活ができるよう

サルコペニアの予防に配慮した透析食を提供する。



「十分なエネルギー量を補いながら適切なコントロールを行うことで、常に栄養管理の司令塔の役割を果たしてほしい」と病態栄養部に期待を寄せる同院の丸山寿晴病院長(前列中央)と、栄養支援を担当する病態栄養部の皆さん



医療法人社団 嬉泉会

春日部嬉泉病院

埼玉県春日部市中央1-53-16

病床数：一般病棟60床

人工透析装置：透析室71台、病棟4台

病態栄養部：管理栄養士11人、栄養士2人、調理師4人、
調理補助2人